

観峰書道

習字手本付録

Kampo School of
Calligraphy

発行日 2010 年 8 月

発行者 原田由利

発行所 観峰文化センター

住所 〒606-8334

京都市左京区岡崎

南御所町 40-20

© 原田詳経 無断転載を禁ず

筆者

原田 観 峰

1911~1995

・正しい文字美しい文字愛の習字の父
・正統書法を伝える書道教範の筆者
・美しい心と伝統の妙技伝承者



KAMPO

書塾出版

www.kampo.co.jp

〔書道の第一歩〕

何事の技を修めるにも、まずその法を学ばなければなりません。剣道、柔道はもちろんのこと、料理、裁縫、野球、大工左官にいたるまで、みなそれぞれの道があつて、この法をわきまえずにいきなり技に達しようとするのは泳法を知らずして水中に飛び込むようなものです。書を学ぶには一通り書の基本法を習つてしかる後に筆を執らなければなりません。おおかたの人が書法を知らずして直に筆をあやつることが多いようですが、それこそ無法というものです。

書道といえど何か一風変わった字を書かなければならないように思い、漢魏六朝、さらに隋唐の碑法帖や古法帖にとらわれ、いたずらに奇書癖字をもてあそぶ人がいるようです。しかし、もともと書の世界には定形定法はなく、一人一流の個性的な自由芸術とされてはいませんが、初学者にとっては無法無定形の書では、つかみどころがなく迷わざるを得ません。

この書道手本は二応基準的な書を掲示しているものです。

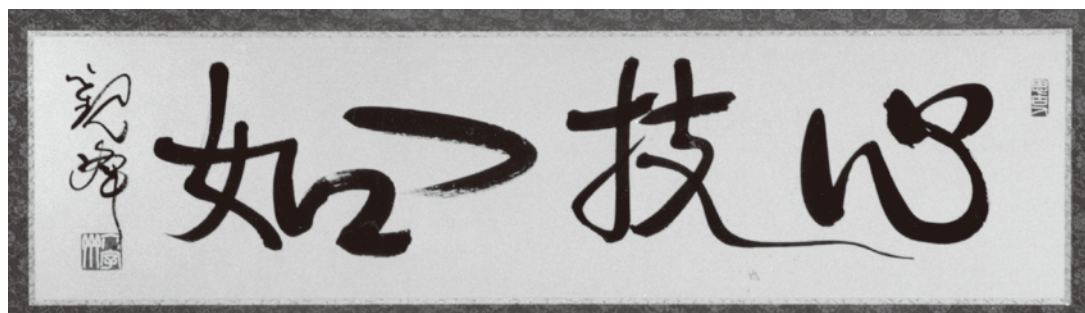
〔書体の変遷〕

文字は地球上の数千年前から文化の発展とともに出現しました。東洋の漢字は三千年前に始まり、遺されている亀甲、獣骨、青銅器、石碑に刻まれた古代文字、木簡、拓本、法帖、書作品や書簡などに今日の各書体の変遷がうかがわれます。

各書体を年代別に大別しますと、

篆書 隸書(八分) 章草 草書 楷書 行書

に分けることができます。一般に草書は楷書の後にできたように思われていますが、草書が楷書の前にでき、行書は最後に筆写の理想体として発展したといわれています。



「心技一如」原田観峰書

〔心法〕

心技一如

書の出来、不出来は、その時の精神状態が大きく影響します。心が乱れては書も乱れ、字もまた俗なものとなります。静かに心気をしずめ、内に力を充実させてから筆をとることが大切です。